

令和5年度 第1回京丹後市図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年9月5日(火) 午後2時～午後4時30分
- 2 開催場所 京丹後市役所 大宮庁舎4階 第5会議室
- 3 出席者 村上弘樹委員(会長)、松岡豊美委員(副会長)、増田明子委員、寺田裕美子委員、東恵美子委員、木本敦子委員、味田佳子委員、東哲委員

(事務局) 松本教育委員会教育長、比企野教育委員会教育次長、
安達生涯学習課課長、坪倉生涯学習課課長補佐、亀田図書館長

(欠席) 伊藤慎二委員、起須周平委員

4 議 題

報告・協議事項

- (1) 令和4年度市立図書館の利用状況等について
- (2) 令和5年度市立図書館事業計画及び予算について
- (3) 都市拠点公共施設整備計画について
 - 1) 計画策定について
 - 2) 第1回都市拠点公共施設整備基本計画策定検討会議 報告

5 公開又は非公開の別

公開

6 傍聴人の人数

0人

《 議事経緯 》

● 開 会

事務局 それでは委員の皆様、大変お待たせをいたしました。ただいまより、令和5年度第1回になります、京丹後市図書館協議会を開会いたしたいと思います。私司会を務めさせていただきます、生涯学習課の安達です。どうぞよろしくお願いたします。はい。それではちょっとまずご報告です本日ですけれども、委員様の欠席がございます。伊藤委員様と起須委員様とが公務がございましてご欠席のご連絡を受けております。

協議会の成立についてご報告をいたします。京丹後市立図書館条例施行規則第25条第2項の規定で、委員の過半数の出席がありますので、本会議は成立していることをご報告をさせていただきます。それと本日は議事の中で、都市拠点公共施設整備についての説明をさせていただくことになっております。政策企画課の都市地域拠点整備推進室石井主任に説明者として、出席をさせていただいておりますのでご承知おきをください。

● 挨拶

事務局 はい。それでは開会をしたいと思います。開会にあたりまして村上会長よりご挨拶いただきたいと思っておりますよろしくお願いたします。

会 長 本当にどこへ行っても最初の挨拶がなかなか涼しくなりませんねということですが、朝夕は大分涼しくなりました。この猛暑の中で、子供たちの夏休みがちょっと昔よりも早く始まっているわけですが、昨日たまたま昔一緒だった先生と出会いまして話を聞いていましたら、もう今は夏休みの宿題はタブレットで、もう夏休みはドリルみたいなものは稀で、夏休みあれを一生懸命やっていたんですけどペーパーをですね、もうタブレットで全部して、そして8月お盆過ぎぐらいになると、先生が自分のパソコンを開いてパッと見たら、誰がどこまで進んでいるか、誰の正解がどうなっているのかということが一目瞭然にわかる。そして、それで家庭訪問をもうポチポチせなあかんということで家庭訪問をされるというような状況ですよってということで、夏休みの作品展なんかもう昔は模造紙にざっと書いて掲示板を作るのが大変だったんですけども、もう今はパソコンで全部作って、それをA3ぐらいの紙にプリントアウトしてパチンと投じる、ともうそういうような、このコロナ禍であった3年のうちに、すごくもう進んでいるのか変わってきていることを聞きまして、えって言ってかなり驚いておったんです。本当にそういう意味では、今の一年生の子供たちも入学したらすぐにタブレットの使い方から練習するらしいです。ですから、もう最初の頃は、学校が休みになって大変だったんですけども、リモートでもう普通に対応ができていくというような、全部の時間ではないでしょうけども、そういうふうなことを、そ

ういう周りの変化に応じた形で、またそういう中で、本というもののよさをどういう形で意義づけていくのか、またそれを生活の中でどう仕組んでいくのかというようなことが、とても大事だなと思いながら聞かせてもらっていました。先ほどもありましたですけども、今度市の方の都市拠点公共施設整備計画というあたりで、資料もいただいておりますけども、7月の24日に第1回があったというふうなことでこれをいただいたときに、話を聞いておりましたのでちょっとホームページの方を見させていただきました。いろいろな立場で、いろいろな方々が計画に関心を持って、推進をしていくということで進めておられるわけなんですけども、いろいろな課題もあるようにも受けとめられましたし、私たちは私たちのこの協議会の中で、協議会としてより良いものを提案をさせてもらっていく、また委員の皆さん方のより良い経験とこれまでのご活躍いただいた、それをもとにしてご意見をいただくというようなことでお世話になれたらというふうに思いますので、ちょっとまとまりませんが、どうかよろしく願いいたします。

事務局 村上会長ありがとうございます。続きまして松本教育長よりご挨拶申し上げます。

教育長 はい皆さん改めましてこんにちは。暑い中ご出席いただきまして本当にありがとうございます。先ほど会長さんからありましたように9月になってもなお暑いということで、学校もですね先週の月曜日から、以前よりも少し早い形で2学期が始まっているわけですけども、小中学生ちょうど夏休みに入る頃、梅雨が明けまして、そこから猛暑がずっと続いていましたので、涼しい夏休みを家で過ごしていた子供たちですので、本当に熱中症が心配だということで、学校現場にはですね始業式前にそういう熱中症の喚起の文書を出したりとか、管理職に対応をいただくようお願いをしていたところですけども、何とか少しずつ先ほど会長さんからありましたように、涼しく少しずつなって参りまして、今のところ熱中症におけるの厳しい状況は起こっていないということで、学校の対応ありがたく思っているところであります。ただですね、毎学期の始業式の日はですね、小中学校の欠席状況も把握しとるわけですけども、これは本来は不登校関係の、関係で欠席状況を把握してるわけですけども、本年この2学期はですね1学期末と違いましてコロナの感染がやはりですね、少し増えてきておまして、そういう中で学校が始まりましたので、先週末には小学校で1校、それから今週初めから中学校で1校、すでにもう学級閉鎖、学年閉鎖が起こっているというような状況で、まだまだですね5類に移行したとはいえどもですね、基本的な感染対策をしながら学校生活をしていかなければならないということで改めて学校の方にも喚起をしていきたいというふうに思っているところであります。

さて、今日の本年度の第1回目の図書館が京丹後市の図書館協議会ということでお世話になっておりますけれども、従来の項目に加えまして、先ほどからもありますように都市拠点構想での、いよいよ答申をいただいたその部分がですね、現実のものになるという大事な時期を迎えておりまして、従来のところに加えまして都市拠点構想につきましても、委員の皆様の忌憚のないご意見をいただけたらというふうに思います。ただですね、この時期から広げていくのではなくて、ある程度、委員の皆様の中での合意の中で集約したものをまとめていただいて、図書館協議会としてもですね、こういう形で、よりよいと市立図書館へというようなところ、市の方にも向けて発信できたらというふうに思っております。この後説明いただくとお思いますけれども、重要な柱の一つとして図書館を位置付けていただいているということで、そこはありがたいとこだというふうに思っておりますので、今日の会議も含めまして、皆様のご意見いただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

事務局 はい、ありがとうございます。次にすすみたいと思います。次第の4番、委員・職員紹介に移らせていただきたいと思います。新任の委員の紹介をさせていただきたいと思っておりましたが、残念ながら今日は欠席ということになります。今年度5月から新たに任命させていただいておりますので、ご報告させていただきます。でまずは委員の方々の自己紹介からお願いしたいと思っております。よろしくお願いたします。

【委員・事務局の順に自己紹介】

事務局 昨年度までお世話になりました丹後中学校の校長先生日野委員さんをご退職により解任となりまして、そのあと引き継ぐ形で、弥栄中学校の起須周平校長先生、5月1日付けで委員に任命をさせていただいておりますのでご報告いたします。本来でしたらこの場で委員委嘱状をお渡しするところですが、本日も欠席ということで、別途、委員様には任命通知をお渡しさせていただきたいと思っておりますので、ご承知おきください。

それでは次の5番、報告、協議事項に入らせていただこうと思います。この後の協議につきましても、京丹後市図書館条例施行規則第25条におきまして、会長が議長となるとなっておりますので、村上会長に進行をお願いしたいと思います。すではよろしくお願いたします。

● 報告・協議事項

会 長 はい。それでは5の報告協議事項の方へ入らせていただきたいと思います。両括弧1から協議事項の4ですが、報告は特にございませんでしょうか。よろしいですか。

事務局 はい事務局の方からの報告はございません。

会 長 それでは両括弧1の令和4年度市図書館の利用状況等についてということで説明の方、事務局よろしく申し上げます。

【(1) 令和4年度市立図書館の利用状況等について 資料1～3の説明】

会 長 はい、ありがとうございます。それでは今、資料1から資料3、図書館の利用状況等についてということで説明をしていただきました。委員の皆様方、ご質問とかありましたらよろしく申し上げます。特によろしいでしょうか。また気付きの点がありましたら、後でもまたその時間を設けたいと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは両括弧2の事業計画予算についてということで、説明をお願いしたいと思います。

【(2) 令和5年度市立図書館事業計画及び予算について 資料4-1、4-2、5の説明】

会 長 ありがとうございます。それでは今ありました事業計画及び予算についてということで事業計画も新たな取り組みも進めていただいているような報告も今ありました。いかがでしょうか。申し上げます。

委 員 はい。ありがとうございます。新しいサービスのことなんですが、予定日通知メールや新着の案内サービスなどは、もう全部自動的にシステムで配信をされるものなのかなと思うんですけども、これによって職員さんの手間がすごく増えるとかってということはありませんか。

事務局 はい、この制度ですがシステムから自動的に送信されるようになっております。ただ、希望でのサービスですので、申し出いただいて、受け付けをしてとい

う、その部分での手間はありますが、配信送ることに関しての手間は、直接職員にはありません。最初の登録のみです。

会 長 よろしいでしょうか。はい。どうぞ。

委 員 ありがとうございます。私も利用を、ウェブ、ネットでの予約とか大変利用重宝をさせていただいています。それで、システムが変わったということで、ちょっと私自身だいぶシニアになってきているので、画面が変わるとすごく使いやすく、またすごく機能が増えたみたいなんですけれども、ちょっと私には使いにくい、もう年をとってくるとなかなか変化に対応できなくて、画面の雰囲気が変わると使いづらいついていう部分もちょっとあるんです。それで今、見やすくなりましたって書いてもらっているんですけども、作家さんの名前を検索すると、今までずらっと出てきたのが、今は10件とか20件とか選ばないと、10件しか出てこないです。最初の設定が10件、10冊しか出てこないのでもちいちそれを、20冊とか、100冊とかに設定を変えないといけなく、それがちょっと面倒だなと思ったりします。それを知らずに触っていて、そのシステムに慣れるのにちょっと手間取ってしまうということが一つで、私だけなのかと思うんですけども。でも私の周りでも、そういうスマホ苦手っていう方年代的にもわりと多いので、こういうサービスできましたよと、ちょっとこういう講習会みたいなものとか、もうちょっと簡単に教えてもらえたら、もっと利用が広がるんじゃないかな。頑張ってるんですけども、なかなか今までとの変化についていけない年頃で、そういうところが手助けいただけると助かるかなと思っている人が、何人かおられるんじゃないかなと思いました。あと、どうしてもチラシ私ももらって家でやってみたんですが、どこをどう触っていいのかわからないのが、2番と3番と4番が、ちょっとわかりづらくてまだ利用ができていないです。そのようなところ利用が増えてますでしょうか、私のような人が多ければ、そういうのもまた考えていただきたければ助かるかなと思います。

事務局 はい。貴重なご意見ありがとうございます。確かに今まで見ていたものがちょっとでも変わるというところであるとか、今の件数の出方については、またちょっとこちらも検討させていただきます。そういった、変更ができるかどうかということも確認してみます。

委 員 貸出期間の延長をできるかどうかっていうのが、自分でわからなくてですね、自分の利用状況っていうのを見ると、いつまでが返却期限というのは出るんですけども、1回延長しているのかしていないのかという見分けがつかなくて、そういうあたりが電話でないと延長ができないので、他の市町村ではネットでも延

長ができるっていう町もあると聞いたので、そういうことも可能であればしていただければありがたいかなと思います。

事務局 はい、今のその見え方によってわからないというところも併せて、確認します。実は、本当につい何日か前の図書館の職員が館内整理日にみんな寄っているなことを報告なり協議なりするんですが、この9月の館内整理日1日に終わったとこなんですけれども、ネット上ホームページ上での延長の手続きを、検討したところをでした。これだけいろいろなホームページ、ネット上でできるサービスが増えてという中で、やはり先ほども委員さん言われましたように、電話かカウンターでの延長受けしか今はしてないのですが、それはなかなか開館時間中に電話できる方ばかりではないということもあり、このネット、ホームページ上で延長手続きをとることを進めていく計画を今しております。もうしばらくして、いついつからできますよというふうにお知らせができると思いますので、もうしばらくお待ちいただけたらと思います。あと3の返却予定日ですが、これ一旦カウンターで手続きしてもらわないといけないので、また来館いただいた時にカウンターで申し出てやってください。お願いいたします。

委員 はい。ありがとうございます。

会長 他の委員さんいかがですか。

委員 はい。事業計画を見させてもらって、2点です。一つ目先ほどの科学的な実験とか観察とか通して科学絵本をということ。もう本当に物語が中心になっちゃうんですけれども、やっぱり普段子供たちが読まないものに行こうと思ったら、やっぱり何なりの楽しい体験というか、こんなことができるんだっていう本当に身近なもので、不思議なことが起こる体験とか、そういうことを見て、また別の世界への興味が広がるっていうことはよくあることなので、先ほど言われた、今年は水と空気の実験を通してと言われましたけど、本当に理科の勉強でもそうですが、子供たちは大好きですので実験とか観察が、だから本当に理学的なことじゃなくって例えば社会科学的なことだとか、或いはアートのなことだとか、体を動かして、体のつくりとかそういうことでも、いろんな興味が広がるきっかけになる、全館共通の取り組みだなと思って、またこの先が楽しみだなと思いました。それから二つ目はボランティアの項目を設けていただいて、大変ありがたいと思います。私も読み聞かせボランティア発足当時からずっともう20数年間もしてきているんですけれども、今年は読み聞かせボランティアの代表ということでさせていただいているんですけど、やっぱり20何年間自分たちのボランティアのことしか知らないんですね。だから、できたらそのボランティア同士で交流しながら、お互いどんなことしているとか、こんなこと楽しかったよと

か言えるような交流の場とか、それってじゃあ誰がするんだって言われたら、私はそんな6町の方に呼びかけてはできないので、例えば図書館の方がちょっとそういう場を設けていただいて、例えば最初はもう交流から、行事の交流とか、こんなことを子供たちとして楽しんでいるとか、そういう話からお互いの実践というか、やっている中身が交流することでより豊かになる、そういう場があればいいなと思います。ただ、それぞれボランティアの方いらっしゃるんですが、発足の経緯も、それぞれの公共図書館との繋がり方とか、例えば金銭面どこから出ているのかとか、もうすごい違いはあると思うんですね。私も今年代表になったので館長さんに個人的に案内出すのはどこにどんな風にとかそんなことから尋ねたりしたんですが、きっとそれぞれ違うと思うので一律にはできないと思うんですけども、活動の交流というか、やっぱりみんな子供たちのためにとって言って、本当に心から心を込めて皆さんしてきておられるので、ちょっとこう視野が広がって中身がもっと豊かにできるような交流ができたらいいなと思うんです。これから先、大きな市立図書館ができたときに、やっぱり視察で滋賀県に行ったときも、二つの図書館ともボランティア活動室という部屋がありました、ということはやっぱりボランティアが市立図書館のために自分たちの時間と力を費やしますよ、そしてそれを保証しますよっていう場がちゃんと設けられていて、それはとても私ぜひ取り入れて欲しいなと思う。狭くてもいいからそういう場が保証される場があれば、とってもいいと思ったので、これから開館に向けても私たちボランティアもお互い力をつけながら、また新しい一歩が踏み出せたらいいなと思うので、そういうのは誰がするのかわからないんですけども、希望です。そういうふうに通頭取りでもしていただけたらなというふうにも、お忙しいと思うんですけども。

委員 今のボランティアの交流ということで、まさしく私も言いたかったことなんですけれども。私も今図書館ボランティアの代表をしまして、ボランティアの中からもやって欲しいなっていう声が上がっています。以前、何回かやりました。それぞれが頑張っていることはどんなことをしておられるのかわからないので、図書館に広い会場がありますのでそこで集まっていただいて、報告したり、それから、こんなことやっていると実際みんなの前で見ってもらったりとかいうこと、何回かやったんです。今本当にそれぞれの町で頑張っておられることを知りたいなっていう声も上がり私自身もそう思ったりしていますので、図書館の職員さんに何とかして、何とかやってということを行っています。で、ちょっとそれですが、10月に大阪から昔話を語りに来てくれる人たちがいるんです。私たちが8月に聞きに行きまして、その人たちがすごいベテランで講習会を自らやっている人たちが来てくれるので、それをぜひ六つの図書館のボランティアさんにも案内して欲しいということで、それをまた一つのきっかけにして繋がれたらいいなと思っていますので、またよろしくをお願いします。

会 長 特によろしいですか。

事務局 はい。本当に貴重なご意見ありがとうございます。すいませんもう本当にできてないことばかりですが、ぜひ検討していけたらと思いますので、また、ボランティアの皆さんのお力もお借りしながらということで、検討していきます。ありがとうございます。

会 長 はい。ありがとうございました。そうでしたらほかには特にはないようですので次の両括弧3、都市拠点公共施設整備計画についてということで今日はお越しいただいておりますので、よろしく願いをいたします。

事務局 すいません。失礼します。事務局です。ちょっと今からの時間は、都市拠点公共施設整備計画ということで、ちょっと新しい話といいますか、今進み始めている話をさせていただきたいと思ひますし、ご意見もいただきたいなというふうな時間にしたいと思ひます。この計画についてですけれども市の総合計画ですとか、あと都市計画マスタープランというのがありまして、そういったところで掲げております都市拠点の整備に向けて、今年度基本計画を策定するという事になっております。その計画策定を目的としまして、今年度新たに京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画策定検討会議というのが組織をされております。この検討会議には、図書館協議会から委員の選出をして欲しいというふうなこともありまして、村上会長とご相談をさせていただきまして、松岡副会長にこの検討会議に出席していただいております。ちょっと遅くなってしまったんですけれどもご報告をさせていただきたいと思ひます。松岡副会長には大変お世話になっておりますけれども、どうぞよろしく願いをいたします。松岡副会長にはこの後、第1回のこの検討会議がすでにあつたということで、ご報告などもしていただこうというふうに思っておりますけれども、まずはこの都市拠点構想ですとか、この資料にあります、こういったところ概要を説明をさせていただきたいと思っておりますので、政策企画課の都市地域拠点整備推進室石井主任から、この概要について説明をしてもらいたいと思ひますのでちょっとお聞きになっていただく時間にしたいと思ひます。よろしく願いします。

【(3) 都市拠点公共施設整備計画について 1) 計画策定について 資料6の説明】

会 長 はい。ありがとうございました。図書館の方から特に今の補足みたいなことでよろしいですか。はい、そうでしたら委員の皆様方、今初めてお聞きになられた

方もあるかも知れませんが、どんなことからでも疑問だとかこういうところはどうなっているのかもご質問ありましたら、お願いできればと思います。

会 長 すいません私から申し訳ないんですけども、今ここにありますこれ見させてもらって一番最初にちょっと引かかったというか思ったのが、「ここタン」というイメージで、中心的な文化的なそういう地区を一つ構想をしていくということで、そこを中心にしてこの京丹後市をイメージ、そこから発信していこうということになると思うんですけども、その中心となるその柱といいますか、先ほど、最初の時に教育長さんの方からもあったんですけども、子育てとか図書館、それから文化芸術スポーツというのは市の三つの一つの柱みたいなものもあるように思ったんですけど、それ以前に京丹後市がこれまでか言っています、自然だとか、そういう中の豊かな心だとか、自分達のマイホームという形の言葉も出てきますけども、そういうあたりのイメージ的なものも、一定論議されてきて含まれていると思うんですけど、そのあたりちょっと補足していただけないか。

石井主任 はい。そうです。今回この構想策定に際しましては、若者を中心としたワークショップであったりですとか、中学生の方々にワークショップなんかもしていたきながら、様々、どういった町であれば、今後変えていきたいかとか、そういったことでもご意見をいただきつつ、作り上げてきた構想なんですけれども、やはり京丹後市に生まれたことで幸せを感じるというようなことが大切では、特に人との繋がりといったところがキーワードとしては出て参りましたし、昨今今ちょうど子育ての支援施設なんかも回らしてもらっている中でもよく聞く話ではあるんですけども、市内でもともとであれば3世代同居であったりでおじいちゃんおばあちゃんもいてお孫さんもいてという中で、特にこの都市拠点整備しようとしている大宮であったり峰山のあたりというのが、転居もかなり多い地域で、核家族がお住まいになられるようなところも増えてきたりする中で、特に繋がり希薄みたいなのところも子育てされている世代の方なんかには、よく最近の課題として上がってくるというようなこともあって、若者の方にとってもシビックプライドとか、この地に生まれてよかったというところで良さの一つである繋がりを強めるということもあるんですし、子育て世代の不安解消という意味でより繋がりを大切にしていけないといけないという中で、今回図書館であったり子育て支援であったり文化芸術スポーツの複合施設である強みを生かして、例えば図書館に本を借りに来るという目的でなくてもふらっと立ち寄れるような憩いの場にもなり得るような施設であったりですとか、そういったどんな世代の方も、どんな特性を持っておられる方も、気軽にご利用いただけて、ともすれば目的外のことでも繋がりが生まれやすかったりですとか、ある種逃げ場というのか、そういったことにもなりえたりだとか、そういうようないろんな交わり合いがある中で、繋がりを産んでいくような、そんな施設になっていくというのが、この

施設の根幹になるような意義なのではないかなというふうに考えておるんですけども。おそらくそういったところも皆様方いろんなお考えをお持ちだと思いますので、今年度基本計画を策定する中でコンセプトといったところも一つ固めていく部分ではございますので、それについても、いろいろと意見をいただきながら、どういう基本方針どういうコンセプトの建物にしていくべきかというのは、今年度も引き続き議論を進めて参りたいというふうに考えておるところです。

会 長 ありがとうございます。委員の皆さん方、いかがですか。

委 員 私もこの辺がわからないんですけども、市全体として京都府の第何次とか京丹後市の総合計画が進められておるんですけども、大きな京丹後市全体をどういう方向性というか特筆する今歴史とか文化とか自然とか他にないすばらしい点がありますよね、そういった、京丹後市の強み、また誇りを子供たちが知って継承していく、また生かしていくという大きな中で全体的総合計画あると思うんですけど、その中で今回の都市計画というのがどういうふうな関連が出てくるか、ここを整備することによって、それが充実させるというか、京丹後市全体のイメージアップというか、この地域だけということではなしに大きな対応とか位置付けというのがわかりやすく整理は当然されておると思いますけども、よりわかりやすく市民的にそういうのが教えて欲しいなというふうなことがあります。それから、図書館とかその辺の位置付けですね。京丹後市の場合は6町に施設があつて、それで中央にこういう格好になるということで、地域の施設は残して欲しいのは基本的にあると思うんです。その中で、中央の図書館ができることによって今までできなかったことが実現しないと、ただ移転するだけではもう一つ意味がないような気がしますので、やはり図書館は図書館としてのその中での位置付けとし、拠点の中に先ほど言われました交流機能も要るし産業とかいろいろな格好の中での、やはり市民の生活というか充実いう格好もあると思うんですがコンセプトを明確にして、その辺は、この前11月に視察行かせてもらった時の、長浜は長浜でコンセプトがはっきりしていて、図書館はこういう役割果たすというのがあり、京丹後市の拠点としては、その中でどういう役割を果たすのか。その中でやっぱり何ができるのか、そこをやることによって普通に単なる集積のないバラバラである今みたいなのと違って、そこにあることに通じて、産業がその中で、知識というかそういう頭脳が集まり、図書館でもそのベースが確立されるというような格好での図書館の力強い打ち出し方というのはやっぱり大事だと。そういう意味では、この前視察行かしてもらったところで、大局的な方向づけいっしょのを持ちながら、細かいやり方というのはやっぱり地域の立地条件なり活かすべき資源も違うと思うので、その辺をきっちりこの前のやつ、まずは視察の内容を事務局の方でアンケートをとってもらったんで、この中で大きなところで合意できるようなことはこういうこと言うのはやっぱり、まとめていただいて、それがまた設計とか

ね具体的なところは生かすべき知恵いうのもいろいろで、部屋がバラバラではなくて全体の見通しがいいとか今言われましたように、交流的な場所もあり、また民間のところも入っていくというようなこともあると思うので、その辺は知恵を細かいところはこれから詰めていったらいいと思うんですよ。大きい骨格というところやっぱり、はっきりしながら、まずその辺を、大変大仕事でやりがいのある仕事で期待もしていますし、お世話になったらというふうに、そういうふうに思いました。よろしくお願いします。

委員　　すいません、同じこと思います。もう、やっぱり確かに網野町峰山町とか大宮中心のようですが、やっぱり端の方の久美浜、丹後町、弥栄町どうなっていますか、と私聞きたいです。やっぱり端々が栄えることによって、京丹後市です。この三つの町だけが栄えて意味ないです。よく考えて欲しいと思います。端の方でね、伊根町の境の方まであります。あの人たちの生活をどう保障していくかということも考えなくては意味ないんです。良くするといっても、この3町が栄えても、ただそこだけだな、あそこまでいかなのか、じゃないんです。久美浜の端、弥栄町の奥の方あります、広いんですここは、広範囲ですから、そこまで目配せ心配りして欲しいと思います。この計画は、私はもうちょっと深く深く考えてから結論を出してください。

会長　　はい。ありがとうございます。他に委員の皆さん、いかがでしょうか。

副会長　　頼りないものが、会議に出させてもらっていて、その報告を兼ねてちょっと言わせてもらっていますが、会議に出させていただいたのは計画として、5回、5回のうちの1回が済み、あと1回は視察があるということなので、あと3回で基本計画が固まるということをお聞きしまして、これは大変だと思って、せっかく皆さんが希望してもらっているいい図書館が今建つということなので、協議会で本当に固めていかなん、今がその時だなと思って私は帰らせてもらいました。今日資料をつけてもらったんですが、平成30年に諮問があって答申を出させてもらった、その資料をちょっと見ていただけますか、後ろの方にありましたけれども。今後の京丹後市立図書館のあり方について答申という裏表の資料があって、裏側に書いてあるんですけど、平成30年にこれを出させてもらったんです。短い文章のものなんですけど、ちょっと読ませてもらうと、本市は、2つの図書館4つの図書室を有している。このうち、峰山図書館は立地場所、広さ及び施設の老朽化が、大宮図書室と弥栄図書室は広さなどの課題があり、当該3施設は比較的近接していることから統合する。統合した施設は、まちづくり・ひとづくりに貢献できる図書館として、施設面・運営面ともに十分な機能を兼ね備えた施設とする。また峰山町及び大宮町にかかる商業地域周辺に整備する。となっています。で新しくこの30年以降に委員さんなられた方もおられるのですが、それま

での経過からみんなで話し合っただけでこれはまとめた文章なんです。今まさしく峰山図書館、大宮図書室、弥栄町図書室を統合できるような場所に図書室が建つと、その時は中央図書館的な図書館っていう言い方をしていたんですけども、しかもその峰山町及び大宮町に係る商業地域周辺に整備するというふうになっていて、この答申を出した時点では、本当にこんなのができたらいいなという理想がもう90%ぐらいあったんですが、この都市拠点ということが出てきてまさしくこれが実現するできるときだなと思って、すごく私は心の中で拍手をしています。ですが、基本計画が今年策定されるということで、しかも回数がそんなにありませんので、今まさにこれが実現できる、何か棚からぼた餅みたいな気持ちがちよっと私はするんですがよかったなあと、本当に今いい図書館を建てるために協議会がまとまって、具体的なことをまとめていかなその時だなと思っています。石井さんの方から報告がありましたように、9月に視察があって10月にだんだんこう具体的に検討が始まるので、そんなにのんびりとしてるわけにはいかないなと思ひまして、協議会を早く開催して欲しいということを希望私を出しました。今、委員さんの方からおっしゃっていただいたコンセプトっていうあたりも、本当にそう思います。京丹後市をどういうふうに見せていくか。去年の視察で、二館回らせてもらって本当にいいところを選んでもらって、もうすごく目からうろこがぼろぼろと落ちるような、お金があつたらということもありましようけど、でもやっぱりすごくこの長浜市はこういうことを見せたいっていうか、そういうこともすごく前面に出されて図書館を作られたのをまぎまぎと見せてもらったわけですので、京丹後市の図書館がせつかく建ちますし、それをどういうふうに見せていくかっていうことはもちろん石井さんの方で考えられることなんですけれども、図書館をどんなふうな図書館を建てたいかっていうことを、今まさに検討するときだなと思ひているんです。一つは答申の中では、峰山大宮弥栄を統合するっていうことが書いてあるんですけども、じゃあそのあとは峰山大宮弥栄はどうなるのかっていう辺りも新たな問題が出てると私自身は感しています。本当に委員の方からあつたように、本当に真ん中に立ったらいいんじゃないかと、周辺のところはどうかっていう新たな問題も出てくるかと思ひますし、今、どんな図書館を建てたいか、具体的に上げていくときだなと思っています。今度の都市拠点の中には、図書館っていうのはもう核となる施設となると思ひますので、コンセプト、機能から出てくる問題点とかを、具体的な言葉として、挙げていただかないと、とても頼りなくて会議に出られんなと思っていますので、よろしくお願ひしたいです。本当に時間がありませんので、ぜひまたこの会とは別に、次の機会になるべく早く、この協議会としてどういう図書館を立てて欲しいかっていう具体的な言葉でまとめるような機会をぜひ、協議会を持っていただきたいなと思ひます。

会 長 はい。他皆様いかがでしょうか。

委員 はい。私はそのタイムテーブルで今どういう時なんかはちょっといまいちよく理解できていないんですが、副会長が言われた、そうであるならば今そういう時期であるならば、私たちがもうちょっと近々の課題であることも感じながらまとめていかなくちやいけないということですね。そしたら、前回、私たちは宿題がありましたよね、まとめて送ってくださってというのがね。皆さんがどんなふうに見察を経て、あの中でどう新しい図書館に活用したい面とか思われたこととかいうふうな項目立てて書いて出しましたけども、あれはどういう形で活かされるのかなとか、やっぱりあれも皆さんがどういうご意見を持たれて、お互いに知って次に生かせるような、ちょっとあれも私もどういう活用のされ方をするのかなと思いつつ、待っています。

委員 はい先ほど言われたように、たった年2回で、しかも大事なものを建てるのに、こんなんでいいのかな、という気持ちがすごくするんです。とことん話し合っただけで、結論出さないと、出来上がってからこうだったなあだったなあ、反省は必要ないんですよ。みんなが安心できて、よかったね、これで町中が穏やかになるわとか、心優しくなれるわとか、今なんかもコロナのおかげで、人間同士がお互いにギスギスしていますよ。だからそういうこともすべて解決できるように、とことんやっぱり責任持って協議会集まっていますよね、集まっているということはみんなの代表なんです。代表がバラバラでこう言うたけど、ああいうたけどまとめて建ててしまったらあきません。やっぱりきちっと話し合っただけで、旅費が何とかこうとかいう意見もあるでしょうけど、旅費よりもこれからの子供たち、残る人たち、私なんかもう年齢高いですから特にそう思うんですよ。人のためには、とことん話し合っただけで、もう食べることも忘れるぐらい話し合っただけで検討しないと駄目です。こんな簡単なことで結論を出したら、3月末に出します。私は反対です。はい。以上です。

委員 はい。この地域に建つということなんですけれど、何遍も私あそこグルグルウォーキングで見えています。ここに建つんだなあ、建つんだよねって。でもねえ、今委員がおっしゃったように、なんか湧いてこないんですよ。去年11月に二ついいところ視察させてもらいました。ですけど、急に早くせよと言われても、やっぱり会合を持ってアンケート出したのもそうですよね。こんなアンケートでこんな意見がありました、ここを取り入れてもらおうとか、もっと細かくみんなで話し合えるような機会持たないと、今の状態では何かもう一つ熱が入ってこなくて、希望ばかりを言ってもね、お金がかかるばかりだろうし、湧いてこないイメージが作りにくいというところ私正直なところなんです。もうちょっと皆さん、各町から出とられるし、視察もさせてもらいました。私何期もさしてもらっているの、いい図書館も見せてもらって、こんなとこいいなあんなとこ

いいなと思うのもありますし、そんなことも併せて、話し合いをしてみないと、さあ時間ありませんよっていうことではちょっともったいない気がします。これからどんなのが建つんだろう、こんなんだよなんて、サロンの子供たちを抱えてるお母さんたちにあんなの建つよって報告もしたいですし、意見も吸収したいです。そういうチャンスをください。

委員　　すいません委員がおっしゃったように、建ってしまってからではもう本当に遅くて、本当にそれぞれの考え方があると思うんですけど、やっぱり各町から代表で出てる図書館協議会でちゃんと練った案。ていうのが実現するかどうかは別にして、やっぱり視察たくさんさせてもらったので、こういうふうな図書館が、立って欲しいっていうことはもう具体的に出さないと。何のために会議に来てたのかなって感じがします。ちょっと石井さんにお伺いするんですが、その基本計画の中で、どこまで具体的に今回、図書館協議会で練っておかないといけないものなんでしょうか。

石井主任　　はい。基本計画の中では、具体的なそれこそ設計に関わるようなこととか、諸室の配置とかそこまでを決めるものではないので、例えば児童書の子供図書室みたいなコーナーは作るべきだよねとか、本当言うとそのコンセプトとして今は基本的には書架があって少し自習ができるスペースがあってっていうのが、市内の図書館図書室のメインとなる機能なんですけども、それだけではなくてもっとこういった例えば対面朗読室みたいなのは設けておかないといけないんじゃないかとか、飲食できるようなスペースをゾーン分けながら設けておくべきなんじゃないかとかっていうような、今後市として、図書館に求められる機能としてはこういうものを入れるべきだというようなことがおっしゃっていただけましたら、あとはどちらかといえばその限られた面積もありますし予算のこともありますし、関係する法令だったりってこともあったりするので、いただいた意見を踏まえて建築家さんなんかとも相談をしながら、それをどう落とし込んでいくのか。また、先進地、参考になるような先進地もたくさん最近はできてきておりますので、そういったところの空間づくりであったりですとか、ともすればアドバイザーとしてそういった図書館づくり、図書館の空間づくりなんかをされてる方にも委嘱もさせていただいてることもあったりするので、そういった方にご意見をいただきながら、協議会さんとしては京丹後市の図書館としてはどういう施設機能を持った図書館を整備していかないといけない、というようなことであったり、でも具体的な何平米の何とか、そんな細かいところまでは結構ですので、こういう部屋は作るべきとか、空間全体としてはこういう利用ができるように配慮しておく必要があるとか、そういったような今後設計なりを考えていくときに、ポイントになるようなところにつきましては、ご示唆をいただければこちらとしては大変ありがたいなというふうに思っておるところでございます。

教育長

それで、教育委員会としても、今図書館協議会の皆様方とこうしてお話もして
るし、これから会議をかなり頻度を上げてやっていこうということも大事だと思
うんですけども、たださっきも言ったように、みんなの思いだけでこうずっと
しててもなかなかまとまらないし、コンセプトといってもそれぞれに思いもある
ので、やっぱり一定教育委員会としてもですね、大筋の案的なものも示しながら
ご意見をもらっていく方が、話し合いはしやすいのではないかなというふうに思
っているんです。ただですね、先ほどから言っているようにコンセプトにしたっ
て、どんな施設をするにしても、ある程度規模感がわからないと、これ困ると思
うんですよ。規模感がある程度狭いのには、あれもこれもと施設への希望を入れて
いって結果的に蔵書が貧弱な状況っていうんじゃない本末転倒だし、ということだっ
たらある程度の蔵書数をどれぐらいの京丹後市の規模だったらどれぐらい確保す
るか。確かに長浜とか、見に行っていたらと思うんですけども、人口もだい
ぶ違いますよね。長浜が12万人ぐらいかな、守山が8万ぐらいだし、私一昨年
か見に行った明石なんか20万の都市の複合施設の図書館を見せてもらいまし
たけども、その規模感は相当すばらしいものだけでも、とか2万の養父市の図書館
もを見せてもらいましたけど、その規模感っていうのがまずあったなかというか
それを大前提とした上で京丹後市としてどんなコンセプトを大事にして、そして
どんな施設をこの中に蔵書とともに入れていくのかっていうところを考えない
と、規模感はわからない中で、夢だけ全部盛り込んだって現実のものにはならな
いかなというふうにも思うので、そういうあたりがどこでどう決まってくるのか
っていうのがちょっと私わからないですけど。

石井主任

実際問題それこそ、今並行して地元の地区の関係者の方であったりですとか
地権者様方には説明会をしたり毎月ちょっとお時間いただいてお話をさせてもら
ったりもしておるんですけども、なので実際のところ予算どりっていうのも今
後になるので基本的にはそういった地元地区とのご相談の中で、今回ゾーンは示
しておりますがあれ全部出ると3万平米ぐらいあるんですけども、当然のことな
がらその辺りでもうすでに住居を構えておられる方については、そこは避けてと
いうなことも考えておりますし、当然のことながら道路の安心安全だったりです
とかも配慮して、おそらく並行しながら、この辺りに建物を建てればお宅には日
影がかからないんじゃないかとかいうことをおそらく並行して調整しながら、で
あればここが何平米ぐらいは建物が建てれそうと、もっと言うと駐車場が最低何
百台は要るだろうっていうようなところで駐車場の必要面積とかを、並行してこ
ちらとしてもおそらく今年度いっぱいかけてご相談を地元の方ともさせていただ
きながら、案としてはもうかなり夢を持った一方ではいただいてもいいと思っ
ているんです。概算事業費なりもう基本計画の中では考えるんですけども、それも
当然のことながらまず夢を持ちながらというか、ここまでできたら一番理想だよ

ねと。ただ、現実問題、案としてはこの程度の施設機能は守って、ちょっとここは諦めるなり縮小するなりっていうような、おそらく案もいただき、かなり幅広い案もいただきながら、中でも優先度をつけていただいて、ここの部分に関しては、面積がもし確保できなければなりませんけども諦めてとか、概算事業費の関係で、予算通り財源確保がなかなか難しければ、最低限ここは守っていかないといけないとかいうようなことはおそらくあろうかと思うので、今時点何平米建てられる面積がありますみたいなことは、正直ちょっと言うのが難しいので、案としては、そのゾーンの中で一定この辺りのっていうのを年内年度内には話し合いながら、示せるようにはしていきたいというふうに思っておりますので、並行して協議いただく中においてはこういう施設機能がもっと言うところに関しては優先度がどれが高くてというようなことであったり、蔵書のことに关しましても、こちらとしてはなかなか何万冊が適正なのか、今の峰山の8万冊ぐらいを維持すればいいのか、そのあたりも正直判断できる部分ではないので、そこに関しても教育委員会さんになるのか、ちょっと検討もしていただきながら、適切な蔵書数であったり、書架の面積であったりというのは、また、ちょっとそういった観点からも専門的な知見で情報をいただけると、計算もし良いかないというふうには思っておりますのでございます。すいませんちょっと回答になっているかあれなんですけれども。

委員 はい。今の話聞いていても漠然として、何か私も検討つかんですが。やっぱり目安としてこのぐらいの面積、私この面積わからんですけど、このぐらいは図書館に取れますよとか、イメージしやすい話し方をしてもらわないと、何か漠然とこうですああですって教えていただいても、具体性がないというのか、イメージできないとか、いう感じで。それから、やっぱりし直しはできないんですよ。京丹後市本当に発展すれば、何ぼでも大きく大きくできますが、発展するというイメージを追いたいですが、さあそこはちょっとわからない。だったらできるだけ。子供のために、また年寄りのためにとか、そういうこれで作り直しができるような事業ではないんです。だから、もうここへ建てた以上は50年なり、建て直しせずに、また改装してまた使うというぐらい魅力のあるものを、私は望みたいんですよ。ずっとここ私も長いことお勤めしてますこの協議会に、だからその夢があって今日まで来てますから、やっぱりいい加減な仕事で終わって欲しくないです。はい以上。

委員 私も会議出さしてもらってその具体的に例えば土地のことはもう確保できてるのか、その辺はどうかなと思って質問させてもらったりとかしてたんですけど、本当に今、石井さんがおっしゃったように、いろんなことが同時同時進行でこう進んでるということで、まだ予算も決まってないような状況なので、この広さでこの予算でというそんな具体的なところまではいってないと思うんですけれど

も、でもそういう方向に向かっているということは確かなので、やっぱり長浜市みたいに、明石の複合施設みたいにそんな大きなことができるかどうか本当にそれはもう夢のようなことだかもしれないんですし、上げて、これは予算の関係でとか広さの関係でってできないこともあるかもしれないんですけども、でもやっぱりその図書館がこうあって欲しい、こんな図書館にして欲しいっていうことは、今いえることだと思うんです。それを今求められているかなと思うので、やっぱりおっしゃったように、この間の視察は視察で皆さんがどんなふう感じられて、どんなところをやっぱり京丹後市に持ってきて欲しいかとか、うらやましかったとか、これはいいなと思ったとか、それ具体的なこととか。それから、図書館が去年、利用者のアンケートとりましたね。その結果をどのように生かして、やっぱりせっかく取ったんですから、どのように利用者が考えているかっていうあたりを踏まえて、本当にざっくりぼんやり中から、こういう図書館が欲しいね、こういう機能も欲しいねっていうことを今、みんなで出し合う時ではないかなあと思うんです。

事務局

はい、すいません。ありがとうございます。実はまだ資料が1個残っておりまして、はい今いろいろお話をさせていただいて視察に行っていたり、そこでご意見いただいたりしまして、こんな図書館だったらいいなとかというご意見いただいております。それを、これまでのいろんな話の中で、ちょっとまとめたものになります。ちょっとこれをですね今日はたたき台にして、理想的なといいますか、どういった機能が、機能の話です、ちょっとコンセプトっていうと、もう一つ上の話になるんですけど、本当はそこから降りてくるのがいいなと思うんですが、ちょっと今いろんな話もありましたが、なかなか具体的なことが決まらない中で、こんな図書館だったらいいなっていう、ちょっとそういったご意見を、今日はまずはいただけたらなあというふうに思っています、この資料7というのを作らせてもらっています。一番左がこのエリアといいますか、ちょっと大きくくりなところなんです。一般書、いわゆる蔵書のエリア、それと児童書を抜き出しています。サービス、その他で複合施設としてはどうだろうと図書館だけではない複合施設としての機能がこんなものあたりはないかなということで、いろんな皆さんとお話をする中であったりだとか、今のトレンドみたいなのも踏まえて、ちょっと入れさせてもらったところがあります。ちょっとこれ説明させてもらってもよろしいでしょうかね。

【(3) 都市拠点公共施設整備計画について 資料7の説明】

事務局　　すいません駆け足になってしまいましたけども、皆さんからの図書館協議会のご意見だとか視察だとか、今の流れみたいところで、こういうような機能があると、あればあるほどいいと思うんですけども、この中で、優先順位をつけていくだとか、スペースの加減で、これはなしにしないといけないとか縮小しないといけないってことは、もしかしたら出てくるかもしれないですけども。今の時点では、皆さんがこれまで思っておられるような、これ以外にとかここに書いてあるものをもっとこうだよとかという意見を、今日はいただけたらいいなと思っておったところです。

会　長　　私の意見を言って申し訳ないんですけど。それぞれの委員の皆さんはそれぞれのイメージでより良い、今説明をしていただいたことはもうすべて、こういうところがいいなということはあると思うんですね。でもそれは、もう大元にあるコンセプトを基にして、どこかはやっぱり、我慢するけどもこここのところを重点的にする、そういうカラー、京丹後市の核となる図書館のカラーはどんなカラーなのか、ということをもっとまず共通理解をしないと、いいところは幾らでもそれは出せますけども、その先に行った時に表側だけのことで、じゃあ予算がなかったら駄目なんですよでもここはという、なんかちょっと本末転倒というのか、そんな感じもするんです。ただ今、先ほどからお話を聞いていますと、とりあえずはこういうものは必要であるということは意思表示といいますかする中で、並行線の中で先ほど私ここタウンっていうのでこれ出してもらっても、なんかその辺がもう一つ京丹後市のカラーっていうのが、こんなこと言って悪いんですけども、みんなにこう説得する形にはちょっと弱いかなあという感じがして、その中にはいろいろな歴史やその今の生活とか、その若者のイメージとかいう、その今求められている部分を、表で求められているものだけではなくて、やっぱこれを大事にしていかなければならないっていうものも、あるんじゃないかなと思うんですね。それが、そういうものも大切にやっぱり引き継いでいく、残していくっていうのか、そういうふうな部分も伏線的にやっぱり今の段階ですから、もう1回丁寧にイメージをしながら、そして片方では今説明していただいたような、今までずっと視察でこれはぜひ取り入れたいという部分ですね、そういう部分も出して検討をしていながら、委員の皆さんの視点で出して、いっていただけたらなというふうに思うんですけど、ちょっとちぐはぐな言い方をしますけども、片方ではまたこの都市計画公共施設整備計画の方でそういう辺りをまた練っていただけたら、それを受けてその核となる図書館や、それから子育て支援や、文化芸術スポーツのそれぞれの核となるところも、よりそれに沿った論議ができ、できるイメージが出せるんじゃないかなというふうに思うわけです。今、最終的には、今説明をしていただいた部分で、今日のところは、こういうもっとこれよりもこんな視点もあるよという辺りを委員の皆さんがたに出していただいて、それが全部受けられるとか、どうのというのはちょっと置いておいて、皆さんの意見として

協議会ですから、ここで決めるということではありませんので、ご意見をいただくということで進めさせてもらったというふうに思うわけですが、いかがでしょうかね。

委員 　　実は京丹後市の場合すごく歴史があって、古代からずっとあって、文化財の関係で今保存から活用というふうな格好で、去年も委員として出させてもらっていて、やっぱり他の地域ではない、もうこれから引き継いでいく伝統として繋いでいくもの、地域の遺産というのもすごくあって、やはりこれは共通の丹後に生まれた、また来た者として踏まえていかんなんというふうな思いを持って聞いておりましたんですけども、その中で文化財は今、保存活用計画、地域計画という格好でスタートしておりまして、それをものすごい期待しましておるんですけども。それはやっぱり分野をまたがったことかもわかりませんが、やはり京丹後市としてやっぱり大きな財産として大事にしていく、これを図書館としてやっぱり継承していくとかそういう拠点的な格好で位置付けてもらいたい。コンセプトとの関わりがあると思うんです。今、事務局でまとめてもらった方が、やっぱり機能としては子供が入りやすい、行きやすいとかいうようなことはあるんですけども、京丹後市としてどうしても外せん部分がやっぱりコンセプトの中にやっぱりきっちり部局を跨った課題の中でも図書館行ったらわかるというようなところの、やっぱり内容的にはコンセプトとか内容は押さえていかないと。他の分野でもいろいろあると思うんで、その辺をやっぱり図書館行ったらこのことがわかるという、このこういう役割が果たせる、役割が機能が果たせるということと、こうしてやっぱり京丹後市のDNAいうか、これやっぱり共有して発展させていく。これはもう、いわゆる金太郎飴みたいに他の地域と同じような格好ではやっぱりあかんと思うんですわ。だからその辺の強みを生かして欲しいなというふうに思っております。

会長 　　はい。ありがとうございます。今の委員さんのご発言も受けて、そういう部分も含めてですね、また委員さん方から、今事務局から説明していただきましたこれについてご意見をいただくという形で、進めさせてもらったと思うんですが、いかがでしょうか。ただ私はよくわからないんですが、委員が言われたように、例えばそうなら図書館の中に歴史的な部分をまず大事にした、継承していくものとかという部分をというのは、そういう部分もぜひということだと、どこにどう関わるのかというあたりが関わってくる部分もありますんでね、そういうことはちょっと抜きにして、もう委員の皆様方がこういう図書館、これはあるけどこういう形のものをできたらなとかそういうことで、ご意見をいただくという形で、お願いできたらと思うんですが。いかがでしょうか。最初、全部でというのは大変ですので、せっかくこうして区分していただいていますので、一般書エリアで出しているような部分で、お気づきの点とかありましたら。

教育長　　これ、機能と特色作りということは、少し違うのでは。基本的な機能として外せないものと、より充実した機能という機能面と、また特色というのは少しちがうのでは。

事務局　　そこを分けて考えた方がいいですね。機能面っていうのは図書館を利用するのに、便利であるだとか、かゆいところに手が届くだとか、嬉しいだとかっていうようなところですかね。特色っていうのがいわゆるその個性とか、この地域のことだとかっていう、そういうところでしょうかね。確かにここは混ざっている部分もあります。この地場産品とかそういうところで言いますと。

委員　　とてもよくわかる整理してもらったなと思って試しています。

事務局　　基本的には表題にもあるんですが、機能というところで行こうかなと思っています。

委員　　はい、機能というところでいうと、ここを都市拠点ということで、図書館だけではなくて、子育て施設ですとか文化的なことみたいなのも兼ね備えた都市拠点っていうことになると思うので、そういう面でいくとこの資料7に準備していただいた中で私がすごく必要だなって思ったのって、授乳室だとかユニバーサルデザインとか広い駐車場とかカフェとかWi-Fiっていうのは図書館に限らず、その拠点全体で必要なことだなと思って見せていただきましたし、そこら辺のところも、ちょっと1個1個見ていくとすごい時間かかるなと思っています。そこら辺のところはすごく大切だなって思ったのと、一つ私視察で守山に行った時に通り抜けてきたんです図書館って。通り抜けできるっていうのがすごい開放感があって、あっちからもこっちからも入ることができるっていうのが、ぜひその設計のデザインとして可能であれば、それを取り入れていただきたいなと思っています。一階は入口があって、テラスにも出るし、また向こうからも出て行けるみたいな、開放感がありました。

会長　　今みたいな視点で気がつかれたようなところとか、ありましたら。

委員　　今の時間に、こういうふうに細かいことも言ってもいいということですね。そうすると私一つ天井の高い空間が、守山の図書館素晴らしいなって思って、途中中二階から、二階が望めることができたり、やっぱり天井は高いからこそ、空間が広く感じるし、それから、今都市拠点構想の場所は山がないので、見晴らしは良いかなと思いますけど、そここのところで、屋外に芝生だとかそういうちょっとゆっくりにできるようなスペースがあるといいなと思います。

委員　この資料7あったんだねみたいな感じで、もうちゃんとまとめてもらっていたんだなという感じです。もうすべて図書館のあって欲しい機能ここに全部ここにあるって言って欲しかったなみたいな感じなんですけど。概ね、こんな機能があったらいいですね。でも、今こういうことを出したらいいということでしょうか。こういったことで、さらに協議会としてはこの部分はもっと、こんなふうになってと今出ているような夢のような希望みたいなことを出していただいて、そして拠点会議の中とか予算とかで調整していただくということでしょうか。先ほど意見の中にもありましたけど、複合的な施設であるので、トイレであるとか、その辺はもう図書館に限らずその他となっていますけど、図書館だけでなくこうこうありたいなっていうのは全体の意見で決まっていくことだろうと思いますし、一つ私が思うのは図書館は目の見える人が利用する施設でありますので、でもなかなか市の真ん中の施設なので、障害のある方が利用するにはどういうふうにご利用できるか、ここに対面朗読の部屋もちゃんと盛り込んでもらっているのによかったなと私自身思いましたけれども、目の不自由な方もあり、また耳の聞こえない方もあり、また体の不自由な方もありますので、そういうことをやっぱりせっかく建つ施設でありますので盛り込んで欲しいなと。図書館としてはやっぱり目の見えない人も利用できるっていうことを考えた施設をお願いしたいなと思います。

委員　はい、私これは入れて欲しいなと思うのが一つあるんですが。玄関と敷地内に入るところとがもうフラットなんですよね。そうすると今さっきおっしゃったように、車椅子でも、それからベビーカーでも、足のしんどいような人も、フラットにさせていただくと入りやすいですよ。長浜がそうでした、びっくりしました。玄関のところの道路と、図書館の敷地内は敷石で違っているんですけど、やっぱりその玄関入ったところ建物の中もフラットで、そんなことができたならありがたいなと思います。ぜひ取り入れてください。

委員　部屋が暖かく感じた一つは地元の木材が使ってあったり、何となくそのやわらかく、地域で育った木で地域のそういう環境の中で勉強するのはすごく心を作っていく場所でも、知識だけと違い人間の豊かな心を育てるという意味で、やっぱり地元のそういったものを使ったり、環境に配慮していろいろなものが循環をするような格好でありましたので、そこがやっぱり建っているものを見て、教育ができたり、新しいことを発見したり刺激を受けるということで、ハットするような部分もいろいろあったので、こういう場で議論をただけでは不十分なんで、企画される人、設計する人はやっぱり我々がこうして出した意見を目で確かめてもらって、実感として体として受けとめて、それをそれプラス以上のもう少し発展系の設計であったり素材であったり、やり方があったりということがあって

す。発想をそのまま真似していかんと、建物だけと違って。どういう思いでこの建物を、この場所ではという訴えること、受けとめる部分が大変あったので、ぜひ決定される人に行って欲しい。それから設計する人に行って欲しい。これ我々みたいに意見を言うて、熱い意見を言うところそれぞれ三つも四つもそういうところ行ってこそ一つのことが実現し、しそうな感じがするので、トップの人も行て欲しいなというふうに思いますね。

会 長 はい。ありがとうございます。

委 員 今、委員さんの方からあったので、そうだと思って自分の希望を言うんですけど。京丹後なので、もう随分すたれてしまったんですけどちりめんを生かした、入ったらああ京丹後みたいな、そんなのをぜひ取り入れて設計していただきたいなと思います。図書館本借りる場所なんですけど、もう今はもういろんな機能っていうか求められいてると思うので、確かに入って本借りるじゃない人もほっとするような雰囲気、具体的に、今たくさんは出せないですけど、長浜でも本当に、地域のいろいろな木であるとかそんなの出しておられましたので、京丹後はちりめん出してくれるといいなと私は思いました。

委 員 私はそれもすごく賛成です。それと海、やっぱり海がある。山もあるけど、海の宣伝になるようなものを考えて欲しいですね。やっぱり近くに海があるのにな、何も無いのはおかしいですよええ。

委 員 はい、海といえばやっぱりジオパークの資料なんかも、文化、郷土資料と併せてそういうコーナーとかあればありがたいかなって思いますし、丹後図書室ができたときに、カウンターで海が見える机がありますよね。そこがすごいすてきななと思ひまして。閲覧席の欄にカウンター席って入れてもらっているのや、個別席グループ閲覧席ってありますけど。久美浜も新しくできたところが大きなテーブルなんです、大概やっぱり真正面に人がおられたら座りにくいんです。死んでいる席と言うたらちょっと言葉はきついですけれども、あんまり生きていない。椅子はワンテーブルに6脚あるんですけども、6人座っているのはあんまり見かけることがなくて、椅子1脚で使われるような机の大きさとか、今どきはあんまりね、プライバシーのこともいろいろあるし、ちょっと官能的な本を読んできて前の人に見られたちょっとかなんかなっていうところもあるかと思ひますし、そういうちょっとこのグループのところは大きな机でもいいと思うんですけど、それ以外のところはカウンター的な、小さな机でという方が一つ一つの椅子が活かされるかなって思っています。あと空間と先ほどからたくさんご意見出ていますけれども、やっぱり空間ってすごく大事だと思ってて、やっぱり新しい久美浜と丹後図書室は空間がすごいあって、すごいホッとしますよね。弥栄とか大

宮とかも峰山もですけど、書架が高くて手が届かないぐらいあって、背中にすぐあるので本棚が大きくて圧迫感があるので、空間を大事にする、そういうコンセプトにするのだったら、本棚を小さく低くした圧迫感がないようにというようなのが、私はそういうのが好みだなと思っています。反面そうすると閲覧できる本が減るので、やはり本厳選して古い本をどういうふうにするのかっていうことも並行して考えていただけたらなど。丹後図書室が新しくなっとうかがったときに、ちょっとカビ臭いというか古い本が結構たくさん並んでいたんで、ちょっと残念な思いがして。すごく申し訳ないです一生懸命していただいているのに。ただ、古くても大切な資料は当然ありますけれども、パソコンの資料ですとかも古かったらこう役に立たない資料というのを分けて、そういうなのある程度厳選して蔵書を数があればいいというものではないと思いますので、そこすごく大変だとは思いますが。そこら辺も、考えていただけたらありがたいなと思います。たくさんいます。ありがとうございました。

会 長 はい。ありがとうございます。他、委員の皆さんいかがでしょうか。

委 員 施設は大体固まってきました。私一番気になるのは、遠くから来るのに不便だということ、車に乗れる人はいいです。だから公共交通のその整備ですけども、もっと頻繁に動けるようにできたらなあという思いがあります。遠くから行きたいな、あそこ行きたいなんて、でも車運転できないとなると大変ですから、そういうものを検討してもうでき上がってからでなくて、もうできる前から計画の中に取り入れてもらって、それはもうスタートと同時に乗っていけるわ、私も行こうかなというふうに、安心できるようにして欲しいです。

委 員 はい交通だったらバス。バスは、200円バスを活用できるように。この間、弥栄町のサトウのところにも、それから網野のサトウのところに、新しいバスの停留所ができたでしょ。これは丹海さんの方がされたようですが、市からも欲求すれば可能じゃないかと思います。そうするとその図書館の場合ね、できるんじゃないかなと思いますねえ。

委 員 本当1時間に1本なんです。あれをもう少し頻繁に。なにか工夫をしていただいたらですよ、できるんじゃないでしょうか。

委 員 利用者が多い、多かったらできるんじゃないですかね。うまいこと回転するかどうかですよ。

委 員 資料6の14頁にあります。駅といっても鉄道という意味ではなく、今ライドシェアの解禁をどうしようかみたいなことを国の方でも話題になっていますけど、私、この策定の会議の中で、これ若者が出した意見ですけど、これ一番いい

など思っ、て、「ここタン」とかもいいんですけど、この新駅っていうそのモビリティ、新しいことも含めて、鉄道、バス、タクシー以外のこと、ライドシェアとかいうことも含めて誰でも行きやすい、仕組みも同時に整えないと、いくらいいものを作っても、そこまで行けないと意味ないよねっていうことがあったのが、すごく一番良い意見だったなと思っているので、もうこのあたりはもう当然、考えていくべきことだと思います。

会 長 はい。ありがとうございます。いろいろな面から出していただいております。時間もあまりないんですけども、先ほどから出てます、この検討を協議会ですけども、先ほどアンケート等の件についてとか、もうご意見いただいておりますので、ちょっと意見はこの辺で切らせていただいて、今後の計画といいますか、こちらがこの協議会としての計画で、お考えというか事務局の方で考えていただいたことあったらお願いできますか。

事務局 はい、いろいろと意見をいただきましてありがとうございます。そして、今日も石井主任も来ておりますけれども今始まっている検討会議とちょっと相談をさせてもらわないといけないのかなと思っています。図書館協議会としての意見集約して、それを上げるタイミングでありますとか、そういったところがちょっと大事なのかなと思いますので、はい今日もういただいた意見は記録もしておりますし、伝えることができるなと思っています。協議会の、この話をするタイミングですね、またちょっと検討させてもらって、また会長にもご相談させていただきますので。この今年度中っていうそのタイムリミットみたいなのもこの基本計画だけいうとありますので、建設までっていうとまだ時間的には、壁はいろいろあるんでしょうけれども、はい。ちょっと皆さんのご意見ですとかを言っていただけるような場面をもうちょっと作らないといけないかなと思っています。はい。以上です。

会 長 はい。ありがとうございます。次こちらの方、10月に視察と。いうことですか。9月ですかもうすぐですね。でもそのあとにまたきつと会議持たれるということですね。はい。それでは大変進行が不手際で時間を取らせてもらってしまいましたが、3の公共施設の整備計画についてという項目については以上で閉じさせてもらいたいというふうに思います。6のその他で何かありましたらお願いします。

事務局 事務局からもございません。

委 員 すいません、この間こないだ新聞で見たんですが、京丹後市の不登校の子供たちの数がどうなのかがちょっと気になるのと、それから、図書館を居場所づくり

の場所として活用しようという動きがあるようです。図書館は本を借りるだけではないんですけど、先ほども計画にもあったんですが、1日ずっとおってもいいよってというような、これ私も希望なんですけど。その学校に行きたくても行けない子や、そういうどうしてもこの場所が居場所がない子たちのために、という考え方を、私は図書館をそういうふうには考えてなかったんで、そういう考えを広く持つようにすると、やっぱりもうちょっと、何か入りやすい工夫がいるんじゃないかなんて感じました。自分が利用する図書館をこう見ている、思ったりしました。少し思ったことがあるので、本楽しいですけど、別に本を読まなくても、いてもいいんだよってというような感じが。するよな場所になるにはどうしたらいいかなとこの間で、新聞の記事からずっと考えているんですけど、何かいい方法があればと思います。

それからもう一つ、その関係ではないんですけど、宮津出身の方で、山崎陽子さんという作家がいらっしゃるんで私講演に行ったんですけど、その方も、今、70代でしたかね。幼少のころに居場所がなくて、不遇な家庭環境だったので、家に居るとところ場所がなくて、近くの図書館で毎日過ごして行って、今、どういう形かわかりませんが作家になって劇作家になっておられるんですけど。京丹后市もその先の話です。居場所づくりとして図書館ができるなら、図書館がそういう場所に、コンセプトとして持てるなら、そういう居場所っていう意味をちょっと広げていったらどうかななんて思っています。私が頭固いのでそれにはどうしたらいいかなあなんて考えております。何かいい方法がありますかね。

会 長 はい。大変いいご意見をいただきました。また、いろいろと事務局の方でも検討していただけたらと思います。

 はい。それでは、その他ないようでしたら、以上で協議の方を閉じさせていただきますというふうに思います。はい。

事務局 はい、会長ありがとうございました。私がちょっとこの資料を出すのが遅かったために、ちょっとこのような時間になってしまって大変申し訳ございません。

● 閉 会

事務局 そうしましたらもう閉会ということで事務局からもその他もございませんので閉会に移らせていただこうと思います。閉会に当たりましては、松岡副会長様からご挨拶をお願いしてよろしいでしょうか。

副会長 お疲れ様でした。時間も超過したようなんですけれども、一番よくしゃべったものがまたしゃべるんですけれども。実は今、委員の方からありました図書館の機能っていうか、どうしたらゆっくりできるかなっていうことが課題だと思います。自分のことなんですけれども、夏休みに6日ほどが孫だけが2人来ていまして、私は、図書館に11年いまして、もう退職して12年になるんですが。ついていって、危ないのでちょっと行き帰りが危ないのでついていまして、4日間、孫たち2人と、毎日2時間ぐらい図書館にいました。で、初めてゆっくり図書館に座って、本当にいい場所だと思いました。在職中はもちろんですが退職してからもそんな長いこと図書館に座ったことがなかったです。いつも本を選んだり、用事があるときにしかバタバタと確かにいませんでしたけれども、じっと座って。親子で来る人たちを見たり、孫たち一生懸命調べたり本を読んでいたもので、私は図書館あみの図書館ですが、ぐるっと回って朝ドラの牧野万太郎さん、本名は万太郎さんではありませんが、牧野さんの図鑑を見ました。それから、孫と一緒に体の中の図鑑とか見て、本当にいい時間を過ごしました。で、こんなにいい場所だったんだと思って、今言っていた意見と重なるんですけれども、図書館が、やっぱりスマホが出るようになってから、図書館の機能っていうのは随分変わってきたと思うんですけれども、市の図書館も貸出数もそんなに減らずにすごく頑張っているなと思いながら、本を借りたり読んだりする場所ではあるんですけれども、でも図書館に求められる姿っていうか機能っていうのが随分また変わってきていると思ひ、もうすごく実感しました。で、とてもよい図書館ができるということなので、ぜひどんなふうにそういう空間を持った方がいいのか、人が集まってここいいなって思える空間にはするにはどうしたらいいかっていうことを、今本当に皆さんで意見を出し合って、良い施設になるようにしていきたいなと思います。どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。